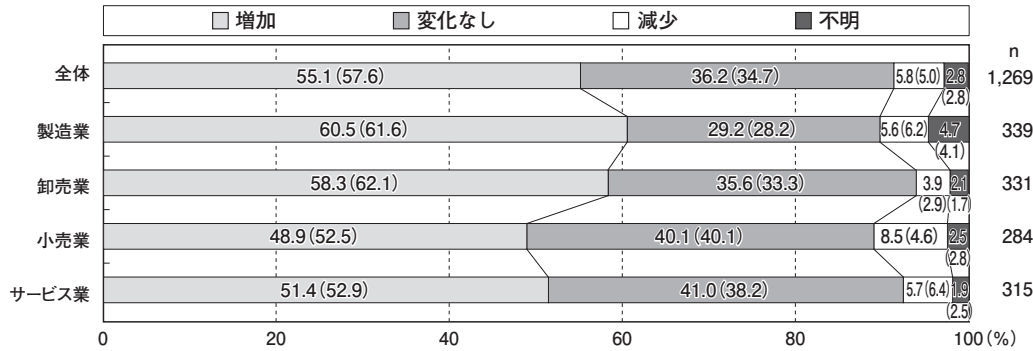


# 事業活動におけるコストの変動

## 1. コストの変化（前年同月比）

前年同月と比較した2026年（令和8年）8月の生産や販売、サービス提供に要するコストの変化を全体でみると、「増加」が55.1%（前回調査 57.6%）と最も高く、「変化なし」が36.2%（同34.7%）、「減少」が5.8%（同5.0%）の順で続いた。

図表11 コストの変化（前年同月比）



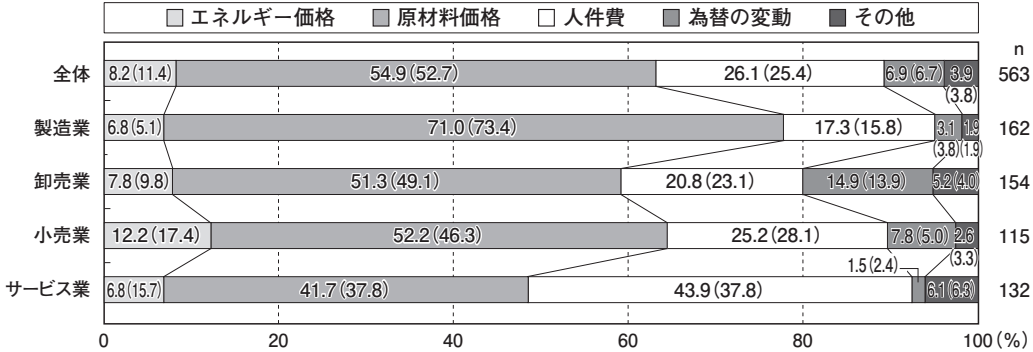
注) 無回答を除き集計。( ) 内は前回調査（令和8年8月）の数値。  
四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

## 2. コスト増加の最大の要因

生産や販売、サービス提供に要するコスト増加の最大の要因を全体でみると、「原材料価格」が54.9%（前回調査 52.7%）と最も高く、「人件費」が26.1%（同25.4%）、「エネルギー価格」が8.2%（同11.4%）、「為替の変動」が6.9%（同6.7%）の順で続いた。

業種別にみると、他の業種に比べて製造業は「原材料価格」の71.0%（同73.4%）、卸売業は「為替の変動」の14.9%（同13.9%）、小売業は「エネルギー価格」の12.2%（同17.4%）、サービス業は「人件費」の43.9%（同37.8%）がそれぞれ高い。

図表12 コスト増加の最大の要因



注) コストの変化（前年同月比）（図表11）で「増加」と回答した企業のうち無回答等を除き集計。  
( ) 内は前回調査（令和8年8月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。